



親和会ニュース 10月

Le petit bulletin pour les résidents permanents



特集 広報記者ゴミ収集車を追う 第2弾

親和会ゴミの「今」を把握すべく
スタートした特集記事。

第2弾は不燃ゴミ・リサイクルゴミの収集作業を追いかけてみました。
気温34.5度のゴミステーション
41番から出発した作業車には、前回と同じく伊東市環境課の稲葉さんと日吉さんが同行くださいました。

最初に感じたのは、収集作業中にトラックを停車したところに限って前後から車が来ます。本当に作業中に限ってです。イライラ顔の運転手に焦る作業員のお兄さんたち。ゴミの分別やしし方に注意することは私たちの当然の義務です



が、ゴミ収集作業を支えるために私たちもちょっとした気遣いを忘れてはいけなかったと感じました。

さて追跡取材の日は木曜で、主にビンカンの収集日。平日とはいえ夏休みに入ったこともあり、焼酎・ワイン・化粧水のビンと、どこのゴミステーションも空き瓶でほぼ満杯です。記者が見るかぎり、ビンカンは整然と出されているようですが、これは大間違い！デタラメなガラス瓶の分別で大変困っていますとのこと。私たちがデタラメに出した瓶をお兄さん達は一本ずつ分別し直します。



『迷ったらその他の色付きビンで』

大手調味料メーカーは、リサイクルができる透明ガラス瓶が多い一方、紫外線防止などから色付きガラスを使用しているのは酒類のようです。昔ながらの日本酒や洋酒

は茶色ビン、その他は色付きビン。
ミツカンは無色透明でしょうか。



『割れ物、割れた物は袋から出して』

次のゴミステーションでは、殺虫剤スプレーが放り投げられていました。スプレー缶や食用オイル缶などは、**必ず中身を使い切ってから「カン」に出せばOK**。もちろんビンのふたも「カン」です。

お兄さんたちが一つ一つ分別している時に、伊豆ナンバーの小

型車がクラクションを二度鳴らします（運転手さん、**あなたのゴミを収集中ですよ！**）



「割れた食器などはビニール袋に入れて捨てられています。きっとご親切からでしょうが、僕たちがビニール袋と割れたものを分けなければいけないので」と、これからは**袋から出して割れたまま裸で「われもの類」**に入れるようにします。

ゴミステーションをきれいに使うのは、私たちの親和会会員の義務です

最後はペットボトル、この季節は特に満杯らしい。「すでに親和会さんよりご注文を受けお届け日を調整中」とのこと。これは有償で一袋5,000円ほどするそうです。

生活するうえでとっても重要なゴミ処理ですが、私たちがほんの少し心がけるだけでゴミ収集作業がスムーズになります。スムーズな作業は、もっと綺麗なゴミ収集所に

変化することでしょう。親和会の実態を一目で見れるゴミステーションを、観光客や皆様のお家に遊びに来られた友人に誇れるように美しく保ちたいと実感しました。

総合防災訓練速報

9月3日(日)午前9時、相模トラフを震源とする震度6の地震が突然発生し、沿岸部では大津波が襲来するという想定でおこなわれました。

伊東市の広報無線を合図に、各定住者の家庭ではシェイクアウト訓練に続き、救助の要不要を示すOK旗の掲示訓練が行われました。



午前10時から、親和会前広場で集合訓練が実施されました。消防署員による消火器訓練では、実際に初期消火を体験し、その後は保健委員の指導による三角巾の使用方法を実践的に学びました。厳しい残暑の中、1時間の充実した訓練を自然と実施することができました。

会場では、防災関連の情報や非常持出品の展示も行われ、防災訓練の参加者は近い将来に予想される大規模地震と、その後の非常事態に備えて、防災への心構えを新たにしました。



伊東市HP 防災



連載企画「介護家族」No.2

在宅介護をしていると、下着やパジャマ、衣類、寝具、タオル類が汚れてしまいやすいという話をよく聞きます。日常生活をしていくうえで仕方がないことですが、要介護者だけでなく家族全員が気持ちよく過ごしていくためには、洗濯と上手に付き合うことがポイントになるようです。トイレや浴室などが汚れることも、在宅介護では大きな話題にはならないですが、家族にとっては精神的にも体力的にも負担を感じます。



【さちこ 夫の在宅看護・介護に奮闘中】

1日に何度も着替えて洗濯機へポイ・・・、風呂上がりに二枚三枚とシャツの重ね着・・・、ふたりだけなのにまるで大家族のような洗濯の山。老いていく自分の体力との戦いの日々が続きます。将来は、自分が看るより、プロの他人にお任せするほうが、いままでどおりの温かい家族でいられるのかなあ。自分に来ることには限界があるので、お互いが気持ちよく過ごせる方法は何なのか。施設に入ることはまだずっと先だけど、そうなったら頻繁に施設を訪問して、笑って楽しい時間を一緒に過ごせるのかなって。

【よしこ 実母の在宅看護・介護を最近終える】

“お互いが気持ちよく過ごすためには、自然体で接するように心掛けなさい”と介護のプロは仰います。それでも日に日に手間がかかるようになってくると不安やストレスで辛くなりますよね。でもね、介護を終えたいま思うことは、時は過ぎ、全てのことはかけがえのない思い出として残っていきますよってこと。不安な気持ち、悲しい気持ちは大切な家族を思うからこそですよ。でも辛いときは周りに助けを求めて！



【ひろし 在宅介護していた義母(妻の母)が最近施設に入所】

僕は全く気にならなかった、きっと妻が洗濯物の分別や、トイレ・浴室の掃除に気を配ってくれていたと思います。仕方なく汚してしまう義母と、快適に生活できていた僕の間で、妻一人が大変な思いをしていたのだと思います。「大丈夫だよ、無理しないで」ともっとたくさん言ってあげれば、彼女の負担も軽くなったのかなあ、と今になって反省しています。

【森田さん 経験豊富なケアマネさん】

トイレや浴室など共用スペースの掃除は、介護保険外のため介護サービスには含まれません。排泄介助をまだ必要としない方がおられるお宅では、家族にストレスが溜まるでしょうね。訪問介護サービスの内容は細かく規定されているとはいえ、私たちの経験をもとにご家族が快適に暮らせるようなヒントをお伝えするよう心がけます。

介護の不安や悩みごと、ひとりで抱え込まずに誰かに話してみませんか。少しでも心が軽くなることもあはります。悩みを共感できる場所、孤独感を癒せる場所『並木カフェ』がプレ・オープンしました。毎月第1木曜日、午後2～4時親和会事務所でお待ちしています。

伊東市認知症
あんしんマップ
右のQRから



私のお庭自慢

『マーマレードとワンコと
ウィンドチャイム』

第4地区 岡本さん

城ヶ崎海岸に移住してきてから、あっという間に二十数年がたちました。地球温暖化の進行によって、一九八〇年代頃から東京の気温は急上昇し『ヒートアイランド（都市部の気温が周辺の郊外に比べて高温を示す現象）』が大きく取り上げられるようになりました。東京生まれ東京育ちの私は、もともと木々に囲まれた生活へのあこがれもあり、これを機とばかりに、思い切って伊豆の地に居を移す決心をしたのでした。念願だった「デッキでティータイム」の夢も叶いました。



庭の主演、甘夏の木は、先住者から受け継いだものですが、毎年たくさんの実をつけてくれる孝行者なので、マーマレードをしながら作ります。マーマレード作りは、なかなか手間がかかります。みかんの皮を細く細く切って作らなければならないので、腱鞘炎になりそうです。でも、東京の知人から催促がくるほどの出来栄え！（エッヘン）。



引っ越してきた時は、2匹だったワンコも三代目になりました。全員、保護犬です。しっかりものヨークー、超あまったれのプードル：次々とバトンタッチして一緒に暮らしてきた愛しい家族です。

伊豆高原は別名「イヌコウゲン」とも称されるらしく、ワンコに優しい土地柄です。そのせいか、我が家の子供たちは、おかげ様でみんな長命でした。今の子は、天真爛漫なポメラニアン。日がな一日、おやつのことを考えてます。先輩犬同様、保護ワンコです。

最近この庭に、ウィンドチャイムが仲間入りしました。ウィンドチャイムとは、長さ数センチから数十センチの金属棒を数本（時には十数本）長さが違うように並べてつるし、金属棒がぶつかり合っただけで奏でる音色を楽しむものです。伊豆高原に来てから初めて巡り合った「風鈴」ですが、古来の風鈴とは、またひと味違った魅力的な低音が初秋の庭に響いています。



並木カフェだより

小雨まじりの9月7日、「並木カフェ」がプレ・オープンしました。当日は民生委員の西貝さん、吉野さん、小内さん、包括支援センターの磯崎さんもお来場くださり、今後の運営にむけてさまざまなアドバイスを頂きました。たった2時間、束の間だけの交流カフェですが3名の会員がお越し下さいました。

親和会地域の高齢化にともなう『交通難民問題』、コミュニティセンターの有効活用問題、移動図書館の貧弱な蔵書問題などの潜在的な行政課題から、「気軽に参加できるスポーツサークルを紹介してほしい」といった身近なご依頼まで様々なお声をお聞かせ頂きました。これらのお声を親和会の各担当部会に確かにお伝えいたします。

お聞きした中でスタッフが気になった話題を紹介します。

Q 隣家の防犯カメラが、私の家や庭の方を向いており、室内を覗かれているようで気になります。設置角度を調整してほしいのですが？

親和会自主規制の「他者に不快な思いをさせる行為」に該当する場合がありますので、地区連絡会の役員にご相談ください。地区連絡会で協議し、地域の共通理解のもとで対処します。状況によっては実態を調査し、役員会で妥当と認めた場合には、親和会として隣家に対し改善を勧告します。防犯意識が高まる中、防犯カメラを設置する会員も増えていますが、防犯目的を逸脱した撮影を行うとプライバシーを著しく侵害し、法的な問題に発展するケースがあります。設置角度などには十分な配慮が必要不可欠です。

Q 親和会ニュースが配達されません、特別な手続きが必要ですか？

定住者届をご提出いただいている会員には、伊東市の広報誌と一緒に、各戸に配布しています。お手数ですが親和会事務所で定住者届の提出の有無をご確認ください。



「いきいき広場 十字の園」取材レポート

親和会地域の民生委員さんからの声がけで「いきいき広場 十字の園」を取材させていただきました。

快晴の9月11日(月)、会場には女性を中心に13名(親和会会員も多数)が集われていました。普段はもう少し多くの方が参加されているとのこと。ボランティアによるサクソフォンの生演奏は懐かしい全11曲、皆さんが昔を思い出しながら歌われていました。心地よい生演奏と皆さんの歌声が重なりすごく癒されました。「みかんの花咲く丘」は手話を交えて合唱。手話を少し学べたことにとっても感動しました。

最後はカルタ取り合戦。記者2名も参加させていただき、取材を忘れて何枚も奪取、とっても盛り上がりました。

10月9日の「いきいき広場」では炭鉱節を踊るそうですよ。予約はいりません、もちろん参加は無料です。

開催日時； 毎月第2月曜日 13:30～15:30

場所； 伊豆高原十字の園



少しでもティータイム

今年の夏はあまりにも暑すぎました。爽やかな風が頬にあたり、木立の中から鈴虫の声が聞こえてくるとホッとします。小菊の花にスキの穂、夕焼け空に赤トンボ。小さな秋をのんびりと過ごす。見つけてみたくなる、この頃です。



ちいさい秋みつけた

作詞：サトウハチロー
作曲：中田 眞直



ふれ愛 並木カフェ

10月5日(木)
午後2時～

親和会事務所

第 1 木曜日

環境ボランティア

10月25日(水)
午前10時 事務所集合

ゴミステーションの表示板
を磨きます(第2地区)

毎月 25日

パソコンサークル

10月3日(火)
午後1時30分～

親和会事務所

第 1 火曜日

のんちゃん体操

10月13日(金)
午前10時～

老人憩いの家

第 2 金曜日

英会話サロン

10月 2日(月)
10月16日(月)
午前10時～

親和会事務所

第 1・3 月曜日

小物作りの会

10月9日(月)
午前10時～

親和会事務所

第 2 月曜日

サロン・デ・スペイン語

10月18日(水)
午前10時～

親和会事務所

第 3 水曜日

絵手紙の会

10月11日(水)
午後1時30分～

親和会事務所

第 2 水曜日

うたう会「夢の和」

10月21日(土)
午前10時～

八幡野コミセン3F

第 4 土曜日

並木カフェ

伊東市委託事業の「居場所」作り。悩みごと、困りごとや親和会への要望・質問を広報スタッフがお聞きします。民生委員や包括支援センターの専門員ともお話できます。

歩こう会

コロナ禍で休止していた「歩こう会」健康増進だけでなく、近隣の旧跡や自然遺産?をのんびりと回ります。

環境ボランティア

親和会の主要道路などでゴミ拾いや草刈などを和気あいあいと楽しみながら行っています。今年は、アサギマダラの飛来を期待してフジバカマの植栽を始めました。

夢プロ「夢クック」

夢プロが主催する「プロから学ぶイタリア家庭料理教室」旬の食材を使った本格イタリアンを学び、ご家族を驚かせましょう。

121回 親和会ゴルフ愛好会

10月19日(木) 稲取ゴルフクラブ 8時30分集合
参加希望・キャンセルは7日前迄、平松(53-1615)まで



キリトリ線

輪番の班長は掃除当番ではありません

10月のゴミ出し日

ゴミステーションはルールを守って

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
月・水・金・日	5 (木)	5 (木)			5 (木)	3 (火)
		12 (木)		10 (火)		
	19 (木)					17 (火)
	26 (木)	26 (木)	26 (木)	24 (火)		24 (火)